



エコアクション21  
認証番号0007191

# 第60期 (2022年度) 環境経営レポート

対象期間:2022年9月1日~2023年8月31日



# MIYAMA

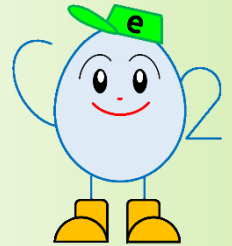
株式会社 みやま

2023年12月1日 発行

## 目 次

1. SDGsへの取組	2
2. 組織の概要	4
3. EA21実施体制	5
4. 環境経営方針	6
5. 当期環境目標及び中期目標	7
6. 環境目標の達成状況	8
7. 環境目標達成のための計画と実績	12
8. 環境法規への違反・訴訟の有無	16
9. 代表者による全体の評価と見直し	17
10. 環境活動への取組み	18
11. 社会活動への取組み	19

みやまEA21  
キャラクター「eco2郎」



## はじめに

当社は、1947年の創立以来74年にわたりプラスチックの金型製作と射出成形に取り組んで参りました。1995年から「世界中のどこに行ってもPPSという樹脂名が出た時に日本に『みやま』がある、と言っただけの企業になる！」というビジョンを掲げ、金属の代替樹脂であるPPS(ポリフェニレンサルファイド)の成形技術を確立・商品化、さらに最近はお客様のご要望を受けて完成品の商品開発にも取り組みはじめており、コロナ禍においても業容は拡大基調にあります。

国際化が進む中、日本に土台を据え、固有の技術をしっかりと社内に培い次の世代に受け継ぐためには、環境保護と生産活動が合致する取り組みが不可欠とのことで、エコアクション21の維持・改善活動を継続して参りました。業容が拡大する中で、SDGs推進企業としてエコアクション21及びISO9001を当社流に融合させた活動に力を入れております。本来業務での一人一人の日々の取組みの積み重ねがCO<sub>2</sub>削減に役立つことが、従業員各自の個人目標を通して意識の変化に繋がってきております。

2030年を見据えた中長期経営計画を視える化し、経営方針・目標の達成が最終的にはCO<sub>2</sub>削減に役立つとの視点から方針管理の側面にも活動の幅を広げ、環境保護活動を益々充実させているところです。

今後も環境に優しいものづくりを通じて社会貢献していくとの強い想いをベースに、この活動を強化・継続していく所存です。



## 1.SDGsへの取組み

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、事業活動を通じてより良い未来の実現に貢献してまいります。



**SDGs**  
REGISTERED PARTNER  
NAGANO PREFECTURAL  
GOVERNMENT

2019年7月、株式会社みやまは長野県SDGs推進企業（第1期）に登録されました。

## みやま SDGsへの貢献

<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	<p><b>CO2排出量の削減</b> 本来業務の改善による品質向上・不良削減を行い、製造工程において排出されるCO<sub>2</sub>単位売上当りの排出量の削減に努めます。</p>
<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p>	<p><b>金属から樹脂への置き換え</b> 金属代替樹脂であるPPS材料の成形に高い技術力を持つ当社の強みで、自動車部品等への採用で軽量化と燃費向上に貢献し、経済性と環境に貢献します。</p>
<p>4 質の高い教育を みんなに</p>	<p>8 働きがいも 経済成長も</p>	<p><b>人財育成</b> すべての従業員に学ぶ機会を提供し、個々人が自ら成長する喜びを感じられる職場作りを行います。</p>

## 私のSDGs取組目標



社員ひとりひとりのSDGs取組目標を定め、社内の掲示板へ社員の写真付きで取組目標を掲示しました。これにより社員のSDGsへの取組意識向上と知識醸成をはかり、社内全体へSDGsへの理解を根付かせています。

## 1.SDGsへの取り組み

## 品質方針



金属の悩みを樹脂で解決！  
私達は世界の幸せな未来に貢献します。

## 1. 顧客優先

社是・社訓に基づき、時流の変化を先読みし、顧客の厳しい要求に挑戦し続ける。



## 2. 品質至上

より確かな、より高い精度の要求に応えるため、常に“品質第一”を念頭に置いて行動する。



## 3. 人材の育成

社員一人ひとりの持つリソースに着目し個性を伸ばし、人間性豊かな人財を育成する。



## 4. 継続的改善

業務を楽にたのしくする品質マネジメントシステムを構築し、顧客満足の上昇を図れる改善を継続的に実施していく。



## 5. 品質目標

年度ごと、時節に合った品質目標を設定し、PDCAを回し続けることにより、効果的な達成を目指す。



2019年6月25日

MIYAMA

代表取締役社長 百瀬真希

## 2. 組織の概要

- 会社名 株式会社みやま
- 所在地 長野県茅野市ちの176-5
- 代表者名 代表取締役社長 百瀬 真希
- 環境管理責任者 専務取締役工場長 百瀬 幸男
- 連絡先 TEL 0266-72-3178  
FAX 0266-73-5473  
E-mail miyama@miyama-gr.co.jp
- 事業内容 プラスチック射出成形・金型製造
- 認証の対象範囲 本社・本社工場
- 事業規模



第60期（2022年度）	
売上額	10億3000万円
従業員数	72名
延床面積	3,667.28m <sup>2</sup>
敷地面積	4,171m <sup>2</sup>



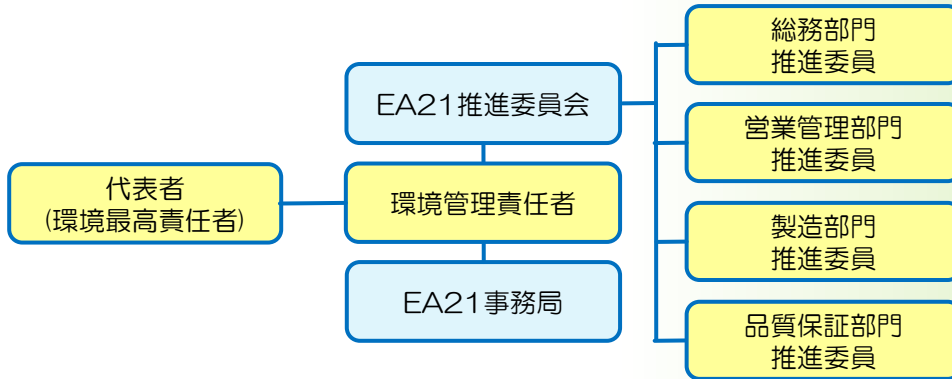
# MIYAMA

本社・本社工場



PPSは金属の代替樹脂として誕生、耐薬品性を有し、強度も高い為、水周りのバルブ等に使用されています。

### 3. EA21実施体制



役職・組織名	役割・責任・権限
環境最高責任者	①環境方針を策定し、全員に周知する ②環境経営全般に関して、責任と権限を持つ ③EA21の全体の評価と見直しを行う ④環境管理責任者を定め、必要な責任者を任命する
環境管理責任者	①EA21の取組みの実行責任者として活動を進める ②環境推進委員会の招集を指示し、審議事項の承認 ③緊急事態対応訓練の計画を指示し、実施記録の承認 ④法規制等の遵守状況の管理
エコアクション21事務局	①EA21環境活動計画を作成し、実行を進める ②環境への取組の自己チェックを実施する ③環境会議を隔週に行い、状況の把握、見直し、記録集計する ④環境管理責任者、実施部門と連携し、問題点等を会社に周知する
総務部門推進委員	①グリーン購入比率の向上を進める ②会社周辺地域の環境維持活動に積極的に参加する ③紙の使用削減に努める ④冷暖房の効率化を進める
管理部門推進委員	①必要に応じた材料、資材の効率的な購入に努める ②社有車輛の維持管理及び燃料の削減に努める
製造部門推進委員	①不良率を減らすことにより、材料購入の低減と廃プラの削減をはかる ②生産の効率化(ショット数・稼働率の向上)による電力量削減を進める ③冷房効率を高めLPGの削減に努める ④化学物質削減、上水道の有効活用及び水使用量の削減に努める
品質保証部門推進委員	①客先クレーム、社内不具合発生件数の集計と低減をはかる ②ペーパーレス化の推進 ③サンプルの保管期限と管理方法の仕組みを構築する ④省資源、省エネに努める

## 4. 環境経営方針

### 〈基本理念〉

当社は八ヶ岳に抱かれ、縄文時代から続く歴史と文化、そして諏訪湖を臨む素晴らしい自然環境に恵まれた地域に立地しています。

この地に生活していた多くの人々が守り育ててきた環境を未来の子供達に引き継げる様に、環境にやさしいものづくりを行います。

本来業務の改善を通して、高い【環境品質】を作りだし、CO<sub>2</sub>の削減に取り組むことで、当社に関わる全ての皆様の【満足度】を高め、社員一人一人の健康で豊かな生活の実現を図り、社会の持続可能な発展に貢献します。

### 〈環境行動宣言〉

株式会社みやまは地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、全員参加で事業活動と環境保全の両立に取り組みます。

### 〈環境行動方針〉

1. 納期を遵守し、効率的な生産を追求することで、二酸化炭素・資源及びエネルギーの削減に努めます。
2. 全員参加の5Sと改善活動を継続的に行うことで、生産性向上、品質向上をはかり、本来業務と環境保全を一体のものとしします。
3. 環境法規・協定を遵守し、環境への意識向上を図り地域社会に貢献します。
4. 環境経営方針を定め全社員に周知すると共に、環境への取り組みを環境活動レポートとして情報開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
5. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めます。
6. 全社員への定期的な環境教育を行い環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。



制定日 2010年9月1日

改定 2017年9月1日

株式会社みやま

代表取締役社長

百瀬真希

## 5. 当期環境目標及び中期目標

- 2016年度を基準年度に再設定し、管理しています。  
(係数は中部電力2022年度、二酸化炭素調整後排出係数 0.388 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用)
- 目標値は製品売上100万円当たりの使用/排出量としています。

項目		年度	54期 2016年度 (基準年度)	60期 2022年度 (当期目標値)	61期 2023年度	62期 2024年度
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /百万円		1140.02	915.00 ▲19.74%	915.00 ▲19.74%	890.00 ▲21.93%
電力による CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /百万円		1044.24	910.00 ▲12.85%	910.00 ▲12.85%	883.00 ▲15.44%
LPGによる CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /百万円		21.29	40.00 +87.92%	40.00 +87.92%	39.00 +83.23%
ガソリンによる CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /百万円		21.20	21.00 ▲0.96%	21.00 ▲0.96%	20.00 ▲3.93%
軽油による CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /百万円		2.94	2.50 ▲15.03%	2.50 ▲15.03%	2.42 ▲17.75%
灯油による CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /百万円		44.60	35.00 ▲21.52%	35.00 ▲21.52%	34.00 ▲23.76%
水道 使用量の削減	m <sup>3</sup> /百万円		0.64	0.55 ▲14.21%	0.55 ▲14.21%	0.54 ▲15.77%
廃プラ 排出量の削減	kg/百万円		16.01	25.00 +56.15%	25.00 +56.15%	25.25 +51.47%
可燃物 排出量の削減	kg/百万円		0.59	0.55 ▲7.19%	0.55 ▲7.19%	0.54 ▲8.87%
化学物質 使用量の削減	ℓ/百万円		0.47	0.47 ▲0.13%	0.47 ▲0.13%	0.46 ▲2.25%
環境美化活動 春－上川土手清掃（上原区主催） 夏－清水川清掃（飯島区主催） 上川 江川橋清掃活動			2回参加 1回参加 月1回実施	2回参加 1回参加 月1回実施	2回参加 1回参加 月1回実施	2回参加 1回参加 月1回実施

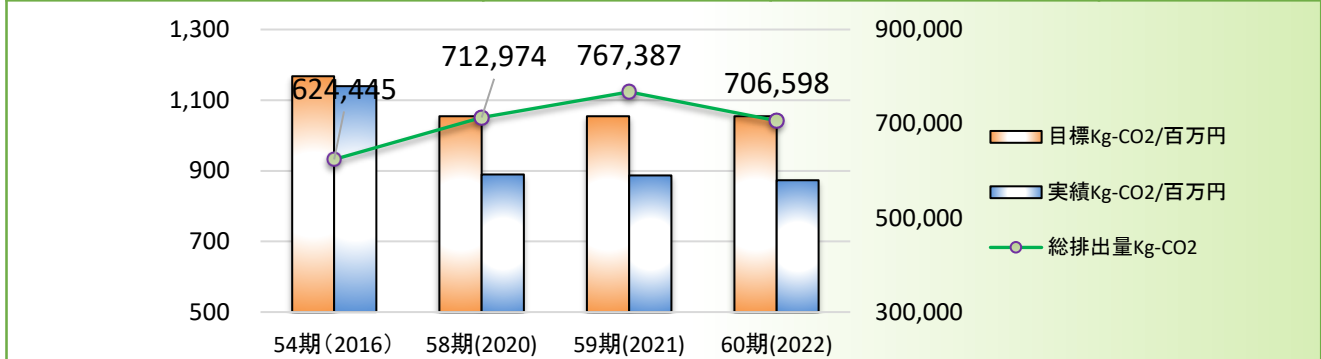


## 6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×


- 目標値/実績の分母は製品売上としています。

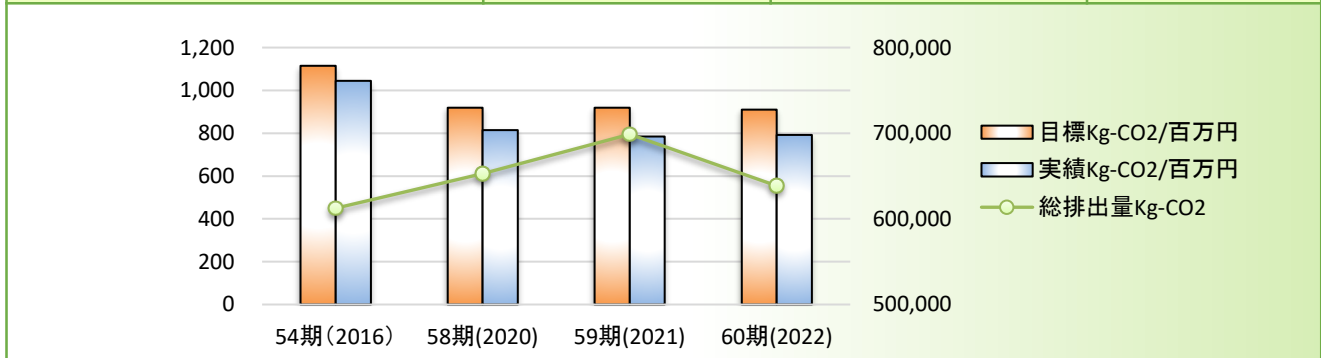
二酸化炭素排出量		SDGs	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	13 気候変動に 具体的な対策を	
60期 目標値	実績 (単位)	総排出量	判定			
915.00 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	873.06 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	706,598.23 kg-CO <sub>2</sub>	○			



### 結果と次年度の取り組み

- 個別項目の評価結果がCO<sub>2</sub>排出量に寄与している。
- 生産量の増加に伴い総排出量は増加したが、売上当りの使用量では目標達成となった。
- 電力使用量がCO<sub>2</sub>削減に大きく寄与する為、今後も使用電力の削減に重点的に取り組む。

電力による二酸化炭素排出量		SDGs	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	
60期 目標値	実績 (単位)	実績 (総量)	判定			
910.00 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	792.87 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	638,512.49 kg-CO <sub>2</sub>	○			

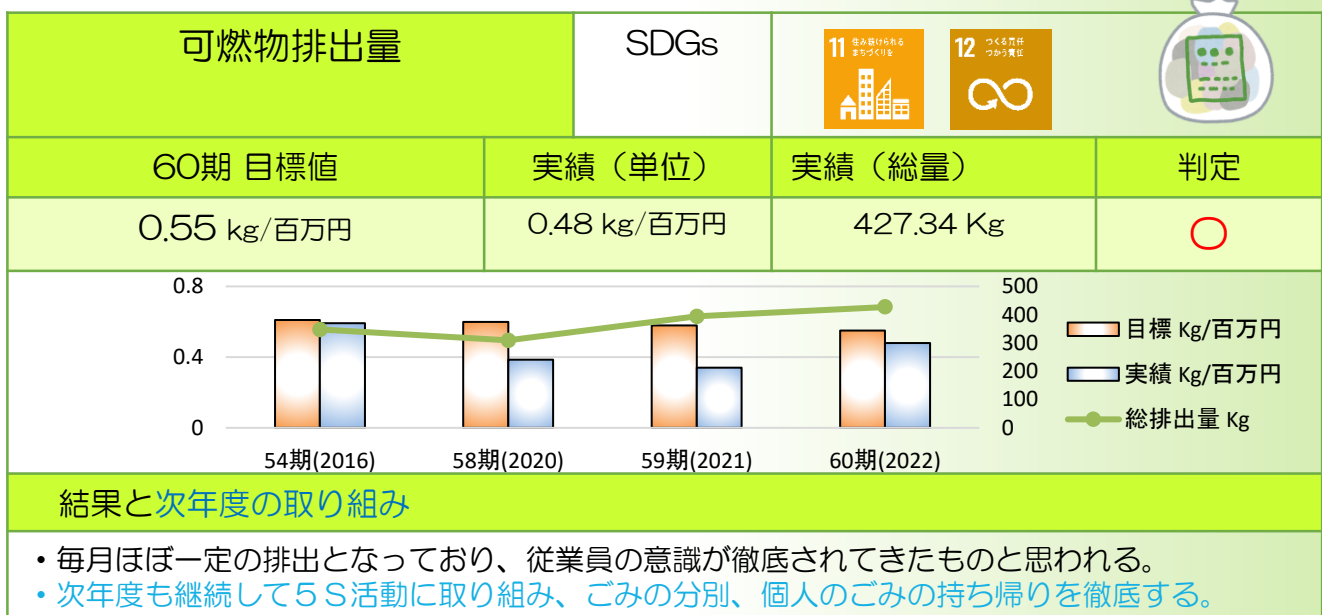
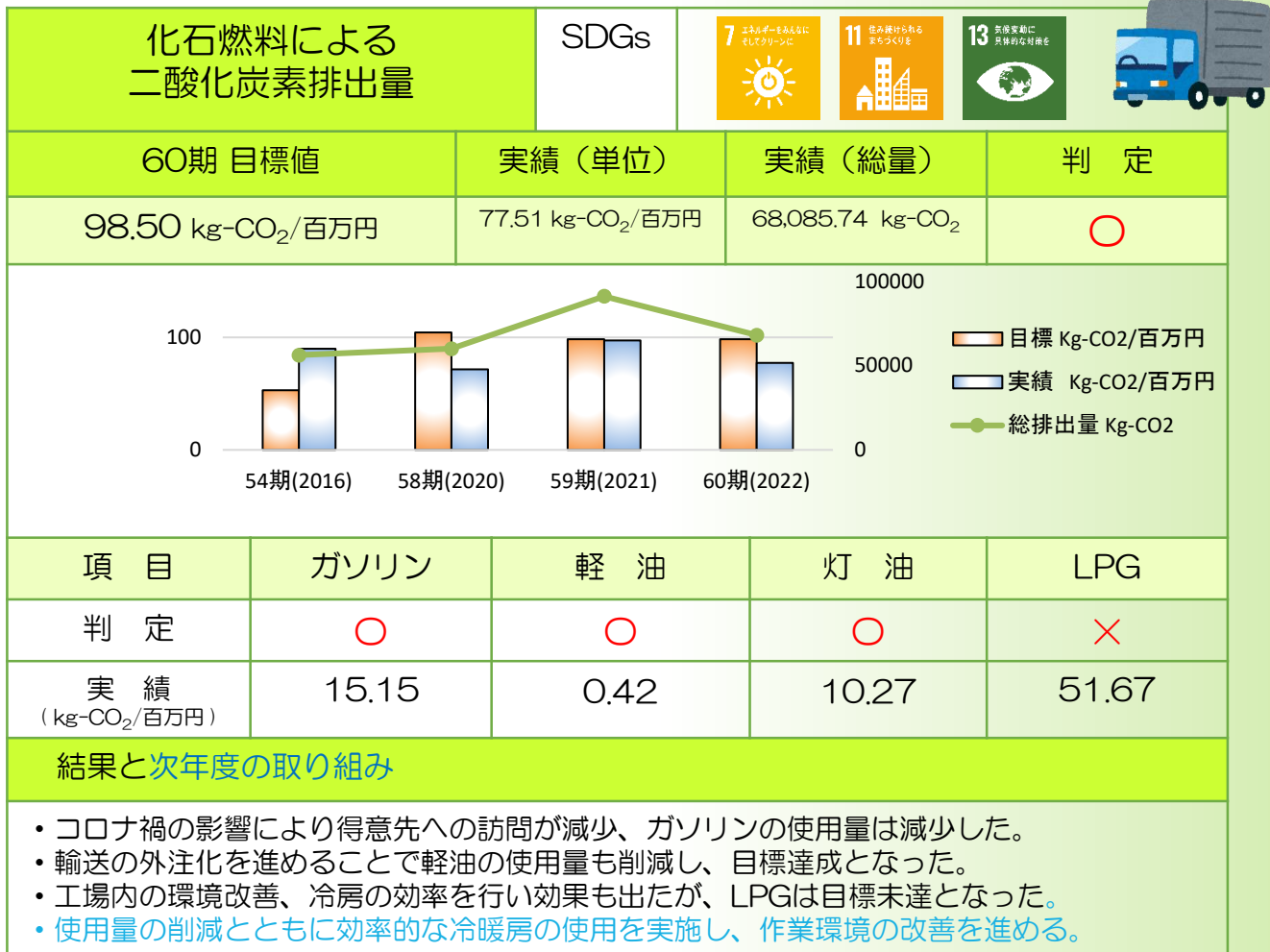


### 結果と次年度の取り組み

- 前期から引き続き、老朽化した成形機を省エネ型に入れ替える等の取り組みができた。
- SDGsの取り組みによる従業員の意識が、日常のこまめな電力削減に繋がった。
- 成形機の増加による使用量の増加が見込まれるが、ムダの無い生産を行い目標達成を目指す。

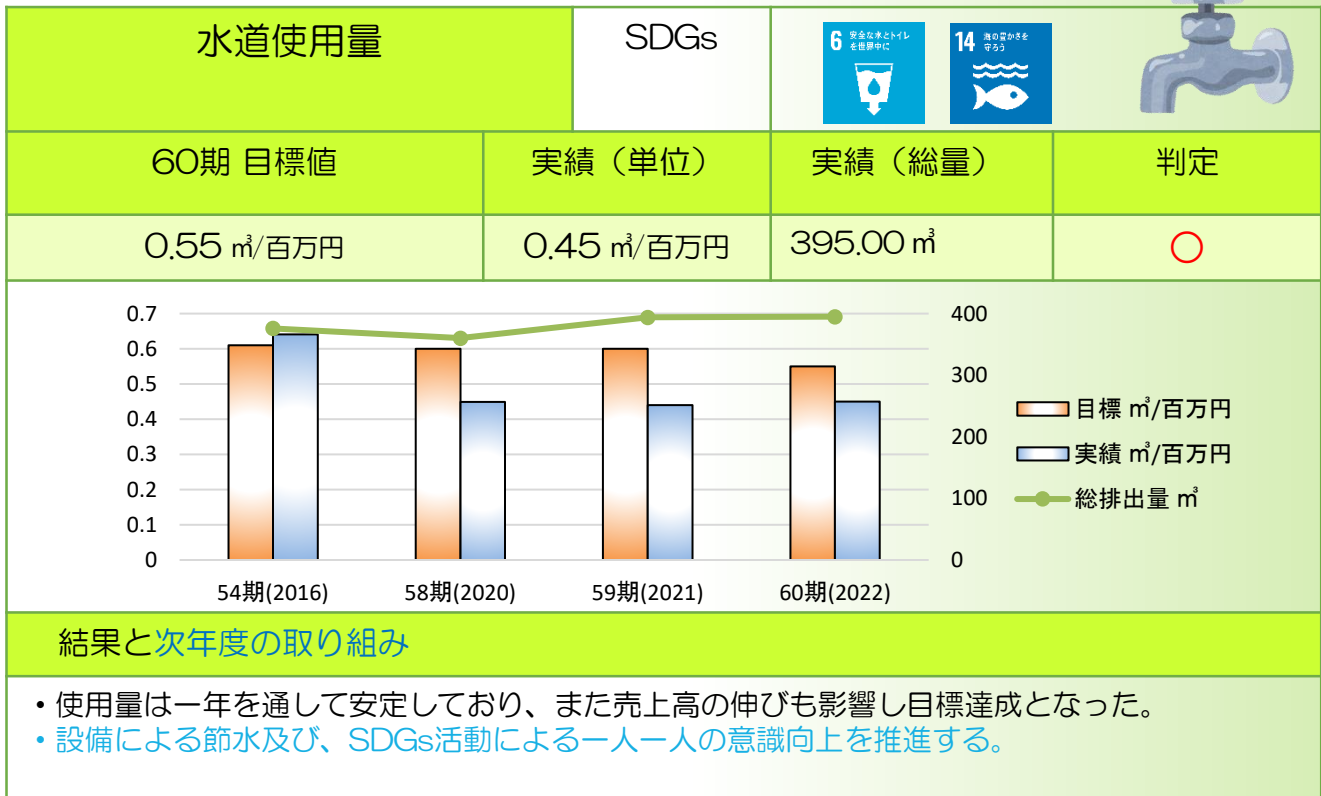
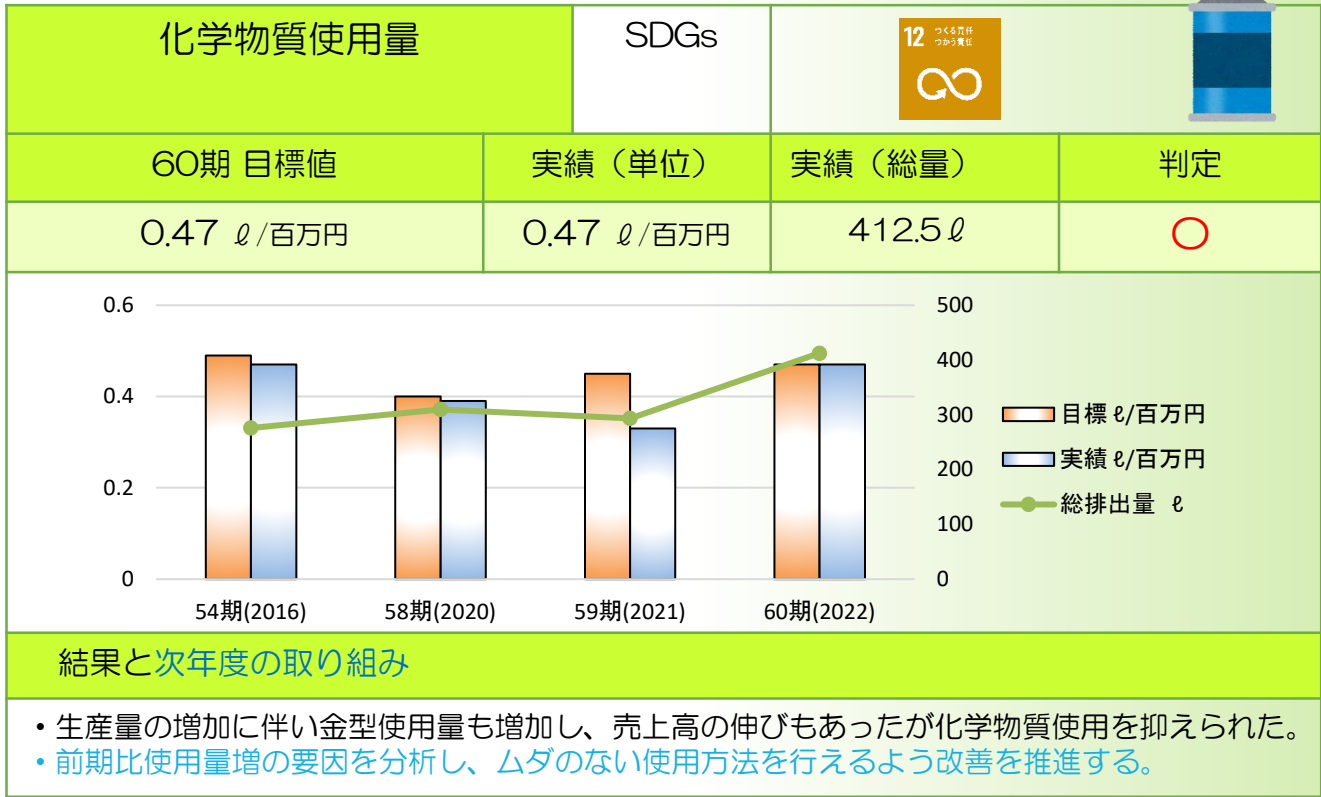
## 6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×



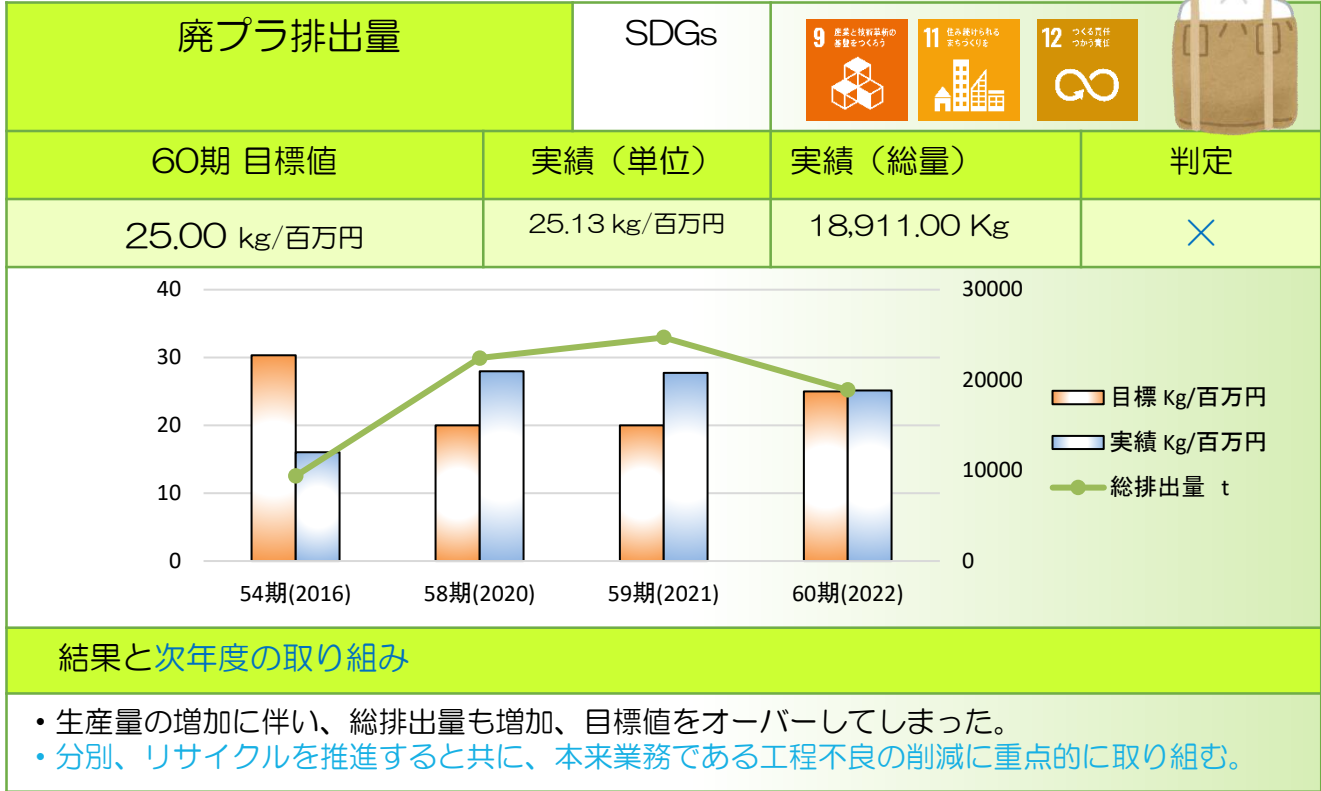
## 6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×



## 6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = ○  
目標未達成 = ×



### 第60期行動スローガン

もったいないを撲滅、  
必要なことはすぐやる、  
なんでもやる、  
手に入るまでやる。



## 7. 環境目標達成のための計画と実績

弊社では、事業活動による基本的な節電、節水、廃棄物の削減を推進すると共に、本来業務の達成率を高めることによってCO<sub>2</sub>排出量が低減できるとの考え方の下、EA21活動の目玉として本来業務の改善に重点を置いて取り組んでいます。

### 総務部門

目 標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
1. 経費の節減 ・改善活動	①本来業務の仕訳 ②総務内整理整頓 ③労務管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労務、経理の2本立てが確立。 <b>経理担当者</b>；入力のCSVによる迅速化・誤差のない資金繰り表作成・支払手形末日到着のための発送・補助金関係届出・官公庁調査票提出・ファイル整理・ISO・エコアクション担当 <b>労務担当者</b>；求人活動・HPの更新・労務管理・会社パンフレットの作成・社外広告の作成・入退社フォーマット作成・3F倉庫整理（社内備品整理）<b>労務、経理の2本柱が完成したが、突発的に生じる庶務的案件が個人に偏る傾向がある。突発的に生じる庶務的案件を明確にし、総務チームとして仕事をしていく</b></li> <li>・総務内の書庫整理 2Fスペースの整理→1F書庫の書類移動→総務内の書類備品を移動し1F書庫の整理整頓をし、備品在庫の見える化による備蓄品の適正化</li> <li>・入退社・残業申請書の用紙変更による残業の目的明確化。目的明確化による意識改革により残業時間の減少個々の残業時間にばらつきがあり、部署間において残業格差が生じている。会社全体として部署間のEIP要請ができるような土台を作る</li> </ul>
2. 会計ソフト運用	①入力業務簡略化 ②部門別管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行データ仕訳取込による簡略化達成。</li> <li>・部門管理会計ソフトに入力し運用開始。<b>インボイス電帳法施行に伴う新会計ソフト導入。現在の枠組から脱却し新ソフトでの月末支払処理までの枠組作り</b></li> </ul>
3. 経営力強化	①人材確保 ②ホームページの更新 ③就業規則改訂 ④経営力向上計画・先端設備導入計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保のためハローワーク・各種媒体への継続的働きかけ。掲示内容の研究・見直し。ホームページの内容更新による企業イメージアップにより求人応募者の大幅増加</li> <li>・評価制度の見直しと再構築 <b>社内情報見える化による迅速な情報の共有化</b></li> </ul>



## 7. 環境目標達成のための計画と実績

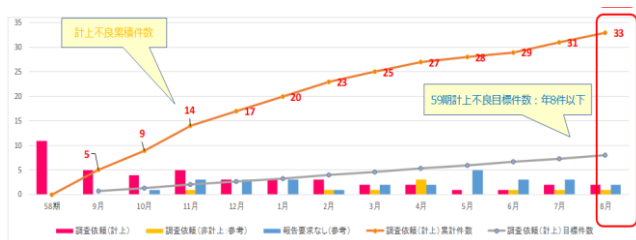
### 営業管理部門

目 標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
1. 売上 11億円 営業利益1.5% UP↑	①ブランディング戦略（自社製品の販売） ②既存顧客・新規顧客の深耕（訪問による動向入手）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 売上11億円にて目標達成率89%となり目標未達成の結果となった。 内訳として量産92%、金型78%</li> <li>• 来期の売上目標は12億円とする。</li> <li>• 既存顧客に対しては、新製品開発情報をキャッチし、アプローチを行う</li> <li>• 展示会を活用し新規顧客を発掘する</li> <li>• 対面営業活動を増加させる。</li> </ul>
2. 在庫の適正化	①各社の基準在庫の明化 ②長期在庫の見直し ③歩留が悪い為、多く生産する製品や生産終了等で打ち止め製品の情報共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各社の内示情報・今後の動向情報を基に社内展開を各部署の協力が図れた。</li> <li>• 在庫の適正化として月平均20日を目標活動を行ったが各資材コストUPにより下期目標を21日とし活動を行った。</li> <li>• お客様の生産動向の確認をし情報の共有により生産数の確認した上で適正在な生産在庫を確保する</li> </ul>
3. Fコストの削減	①更新金型の提案 ②「もったいない」の情報収集と改善 ③工程変更による外注活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 長期金型・長期保有製品引取を進め管理費のコスト削減が出来た。</li> <li>• 毎月受注予測表と材料購入量予測による意識向上、協力体制構築が進んだ。</li> <li>• 更新金型の打診にて、更新につなげFコストの削減につなげる。</li> <li>• 工程変更により、外注への移管金型を進めFコストの削減</li> </ul>
4. 情報の見える	①案件情報の見える化 ②TECHS工程情報の更新・工程進捗の見える化 ③DRの運用見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 色んな情報を共有する仕組みを考え、各職場で活用、また改善に結ばれるよう進めていく。</li> <li>• DRの実施、運用見直しによる社内共有</li> </ul>

## 7. 環境目標達成のための計画と実績

### 品質保証部門

目 標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
1. Fコスト削減 1000万円以下  83.3万円/月以下	①品質会議開催1回/月 ②品証自責対応 ③CO2削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内不良金額は達成率55.3%と大きく下回った。</li> <li>クレーム件数、赤伝不良件数、金額ともに未達となった。</li> <li>品質会議での取り組みにより金型改善に着手、根本対策を実施し品質改善に繋がった。</li> <li>製造工程にて、製造品管を新設した事により、不良の早期発見に繋がった。</li> <li>金型起因、成形加工起因で発生する社内不良、客先クレームの恒久策を順次実施中。</li> </ul>
2. 品質保証部員の意識向上	①部定例会の実施/週 ②RVPを通じて、意識・業務改善。1-2回/月	<ul style="list-style-type: none"> <li>部定例会を1回/週（木曜日実施）問題点、課題の共有と、スケジュール共有を行った。</li> <li>RVPを通じて、製造部と協力のもと、社内の品質保証体制の構造改革を行い、製造部に、製造品管を新たに作り、品証と協力の上、新しい合理的な保証体制に着手した。</li> <li>更にリアルタイムに、社内不良の低減、客先不具合の低減を、徹底して推進し、ワースト10からの脱却とFコストの徹底削減を断行していく。</li> </ul>
3. 新製品の品質問題低減	①立上げ前の問題解決 随時実施 ②後工程自動化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>DR会議に参加、実施することで、新規製品への量産問題を解決する方法を盛り込んでいき、安定量産と、トラブルの無い製品出荷を実現するべく、取組を開始。</li> <li>ハウジングナット圧入の自動化、他バリ取り治具や検査治具の開発など実施。</li> <li>自動化、検査・バリ取り治具を更に開発する。新規製品への働きかけは、更に先の未来への課題として残していく。</li> </ul>
4. 企業基盤の強化	①客先信頼の獲得 社内不良低減 ワースト取引先からの脱却。23件以下/年 ②ISO品質体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>客先不具合、達成率82%未達となった。ワースト10入りも目立ち、脱却出来なかった。</li> <li>来期もISO審査の計画を進めるとともに、基準の改定も行っていく。全取引先からの、ワースト10脱却、品質上位を目標とする。</li> </ul>



クレーム件数の見える化  
(継続)

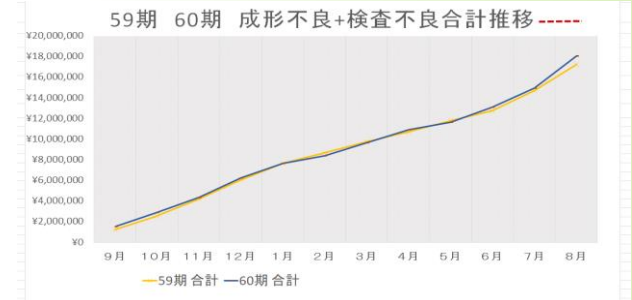
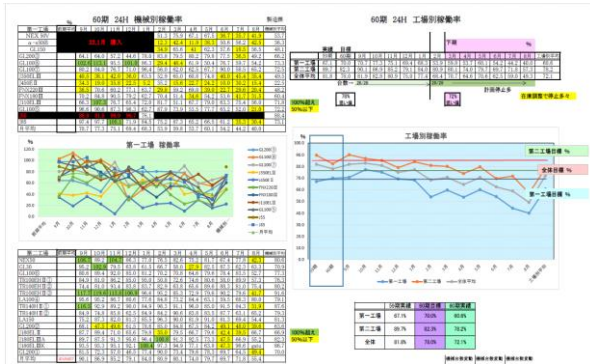


個人決意表明、漢字発表

# 7. 環境目標達成のための計画と実績

## 製造部門

目標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
<b>1. 機械稼働率把握</b> 目標 78%	①金型トラブル停止の削減 ②生産計画通りの生産 ③機械設備の増設 総台数26→28台へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械台数26台/5ヶ月=80.6%</li> <li>機械台数28台/7ヶ月=66%</li> <li>機械設備導入に伴い、稼働日で効率良く稼働出来る体制を整える。</li> </ul>
<b>2. 成形不良の削減</b> 999万円/年以下を目指す	①初品判定NGリスト表の作成とFBをする ②品質情報FB品の対策検討と実施 ③不良ワースト20の検討と対策を実施 ④問題金型の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>60期総額 成形不良 1,806万円 59期とほぼ横這い、未達成となった。金型老朽化問題/慢性問題が解決出来ず過去最高のLOTアウト件数が発生再生産/代替生産が必要となり、材料購入費率を押し上げてしまった。</li> <li>品質は金型で決まる観点から金型修理/メンテ精度PUが不可欠で有る。</li> </ul>
<b>3. 自主保証品を増やす</b> 目視確認+16点 (トータル=75点)	①課員の品質指導 ②検査表の作成 ③ワンポイント：レッスンの作成 ④製造課主体だ進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間移行数 12件と目標は未達成では有るが大きな成果となった。(自主保証品の保証管理も推進中)</li> <li>自主保証品の定義を改めQAと連携し進め、お客様に良い製品をお届けする。</li> </ul>



## 2. 成形不良金額/前期との比較推移

### 1. 成形機械稼働率の推移

NO.	寄先名	特記事項	製品群(0)の部品数	保証品数	チェックコード	その他
1			27	0	10018	
2			4	4	10022	
3			3	2	10010	
4			1	1	10015	更新金型
5			4	0	10039	更新金型
6			4	2	10078	
7			0	0	10080	元社約成形
8			0	1	10033	
9			1	1	10006	元社約成形
10			1	9	10023	23/6月
11			2	0	10026	生産終了
12			7	6	10040	59/9月移行開始
13			2	2	10052	59/9月移行開始
14			3	3	10047	59/11月移行開始
15			1	1	10021	59/11月移行開始
16			1	0	10023	59/6月移行開始
17						
18						
<b>トータル</b>			<b>81</b>	<b>23</b>	<b>51</b>	

順位	不良金額	品名	得意先名称	不良区分名称	不良数	不良金額	原因	対策	発生	稼働
1	4884	底圧有平下(0)アゲリR242B2 A	アグロ	シーブ(0)アゲリ	578	578	シーブ(0)アゲリ	シーブ(0)アゲリ	製造/インテ	→
2	1695	FC-A038-039-0-0-0	東洋精工	FC-A038-039-0-0-0	275	275	FC-A038-039-0-0-0	FC-A038-039-0-0-0	製造/インテ	→
3	8185	FC-A038-039-0-0-0	東洋精工	FC-A038-039-0-0-0	41	41	FC-A038-039-0-0-0	FC-A038-039-0-0-0	製造/インテ	→
4	7452	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	686	686	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
5	5792	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	889	889	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
6	4844	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	36	36	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
7	1601	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	183	183	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
8	3516	FC-A038-039-0-0-0	東洋精工	FC-A038-039-0-0-0	626	626	FC-A038-039-0-0-0	FC-A038-039-0-0-0	製造/インテ	→
9	2978	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	13	13	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
10	2778	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	13	13	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
11	2707	FRONT GAGE	日本電業工業	FRONT GAGE	13	13	FRONT GAGE	FRONT GAGE	製造/インテ	→
12	2578	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	13	13	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
13	2311	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	23	23	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
14	2120	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	32	32	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
15	1667	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	286	286	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
16	1488	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	178	178	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
17	1488	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	178	178	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
18	1418	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	165	165	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
19	1378	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	86	86	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→
20	1158	PPC-E-PPC_E	三井物産	PPC-E-PPC_E	36	36	PPC-E-PPC_E	PPC-E-PPC_E	製造/インテ	→

### 2. 成形不良ワースト20把握と対策

### 3. 自主保証品を増やす



## 8. 環境法規への違反・訴訟の有無

以下の法が適用されるため、2023年8月31日に遵守確認を行ったところ下記の結果でした。また、環境に関するステークホルダーからの苦情は、本年度もありませんでした。

適用法	法規則内容	評価結果	判定
廃掃法	産業廃棄物の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物処理委託契約の有効性を確認し、処理実態に問題はありませんでした。</li> <li>マニフェスト保管に問題はありませんでした。</li> </ul>	○
騒音規制法	射出成形機 コンプレッサー設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定値は茅野市の騒音規制値内にあります。</li> </ul>	○
振動規制法	射出成形機 コンプレッサー設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定値は茅野市の騒音規制値内にあります。</li> </ul>	○
消防法	特定施設の届出	<ul style="list-style-type: none"> <li>灯油の地上タンクの異常臭発生及び油量異常減少の日常管理を実施し管理状態にあります。</li> </ul>	○
グリーン調達基準	特定化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンマーク商品の購入、顧客要求に基づく特定化学物質非含有材料の使用を推進しています。</li> </ul>	○
家電リサイクル法 小型家電 リサイクル法	廃棄時の記録管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄時の記録を残し、専門業者に廃棄を依頼しています。</li> </ul>	○
労働安全衛生法	特定化学物質障害 予防規則等	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクアセスメント義務化対象となる化学物質についてのリスクアセスメントを実施しました。</li> <li>①メタノール ②アルカリ溶液SK-501</li> </ul>	○
フロン排出抑制法	冷媒漏洩点検・ 整備記録等	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施しました。</li> </ul>	○



## 9. 代表者による全体の評価と見直し

今期60期は新たな5ヶ年ミッション【貢献に生きる人財つくりと輝く未来を手にする企業つくり】の2年目を迎えました。

このミッションは仕事の課題を自分事と捉え、人と共に協力し乗り越える力を持つ人財育成を推し進めることで会社の中でも社会でも自分も他人も成果をあげ、喜びあえる未来を輝く未来と位置づけ、5ヶ年で人財と輝く未来の礎を創り出そうとしています。

私自身も会社の課題を明確にし乗り越える為に、個人目標として「破壊と再生」を掲げ、社長に就任してから12年、上手くいっている事の中にも今に甘んじる事で、成長を止めてしまう恐れはないかどうか、そして上手くいかなかったことの中にも、改めてチャレンジする余地はないかを見極める一年と決意して今期に臨みました。

その結果、上手くいっている事の中に仕組みに落とし込めておらず人についている仕事があることが明確になり、そのために不良の発生に歯止めがかからない事象がある事も判明しました。

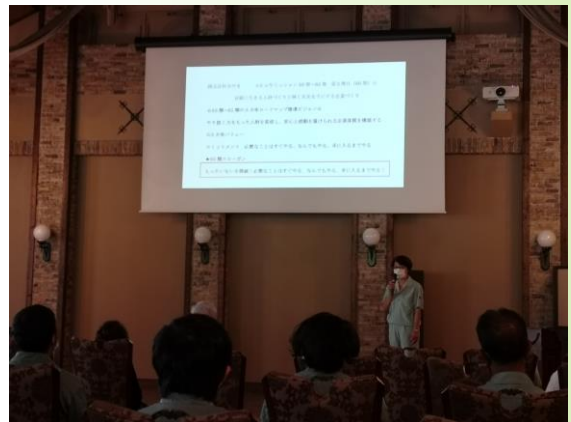
不良削減を全社目標として掲げ、人についている仕事を組織や仕組みの中で動かせる様にチャレンジする一年となりましたが、まだ改善に結びつくところまでたどりつけなかった事は残念ですが一方で全社として今期特筆すべきは若年層の採用が進み、平均年齢を5歳以上上げる事ができた事です。

新しい視点やアイデアが持てる余地ができてきて61期に希望のあるバトンをつなぐことが出来ました。

来期は新しい視点を取り入れ、目標の達成に臨んでまいります。

代表取締役社長 百瀬真希

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS



### 【60期方針説明会】

60期の社長方針と各部門の目標を発表し各部門が目標達成に向け始動しました。

## 10. 環境活動への取り組み

### 地域社会への貢献



毎年の恒例行事である地域環境維持活動として、地元上原区の上川右岸を守る会等に参加しています。清水川の河川清掃、社員の通勤路である江川橋の定期清掃、周辺道路の雪かき等により、会社周辺の美化にも努めています。



河川清掃活動の様子



周辺道路清掃活動の様子

### 社内緑化への取組

会社の緑化・野菜の栽培



敷地内に木や花を植える、グリーンカーテンを作るなど、緑化を進めています。前期に引き続き今期も畑を作り、長ネギ、白菜、大根等を育てました。

### 太陽光発電設備設置



第1工場 (47.56Kw) 第2工場 (72.00Kw) 屋上へ太陽光発電設備を設置。2023年4月から稼働開始し、省エネルギー化を推進しています。



太陽光発電設備

再生可能  
エネルギーを  
活用しよう!



## 11. 社会活動への取り組み

## 社会への貢献



永明中ジョブギャラリー 22/12/2



小牧市立味岡中学校工場見学 23/5/16



茅野どんぱんへの参加 23/8/5



地域企業として茅野市のジョブギャラリーへの参加、また、コロナ禍で中々積極的な見学受け入れが出来ない中、感染対策をしっかりと行い、学生の見学を受入れました。また、4年ぶり開催の地元茅野市の夏祭り「茅野どんぱん」へ参加し地域を盛り上げています。働くことの意義、5S活動やSDGsの取り組みといった今後の社会を創造する若者への教育一環として活動出来ました。



**MIYAMA**  
株式会社 みやま